

中学校国語科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
問一	㉞ 1		各 2 × 5
	㉟ 4		
	㊱ 3		
	㊲ 2		
	㊳ 1		
問二	1, 4	全部合っているものだけを正答とする。	3
問三	2		4
問四	1		3
問五	2		4
問六	3		6
問七	隠喩を理解する過程において、話し手が隠喩として示した事物に対する心身態勢に沿って喚起された身構えで、隠喩の対象を見るようになるという変容。(69字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
問八	コップが横になっているのを見た幼児が、自分の現在の経験と同じ型の経験を過去に探し、横たわって寝ている人を過去に「おやすみしている。」という言葉で表した経験と似ていると自覚し、その経験になぞらえて、「コップがおやすみしている。」と捉えている。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	14
問九	「冬は僕の餌食だ」という隠喩を含んだ表現は、冬を餌食にたとえることにより、餌食という野生動物に餌として食われるものというイメージを読み手に想起させ、それを冬に重ねることで、寒い季節という冬のロゴス的な意味とは別の意味の見方を抱かせている。このことは、単に冬に対する新たな見方を読み手に提示するだけでなく、それを受け取った読み手の感性の幅を広げることにもつながっている。 このように、優れた詩は、レトリックを駆使することによって、作者の身体的認識をなぞり、読み手の身体を場としてからだで納得させるといふ原初の意味生成の場に読み手を連れ戻し、読み手に新たなものの見方を与えてくれるだけでなく、読み手の世界認識の幅を広げてくれる。世界認識の幅の広がり、読み手の感性の幅を広げ、心豊かに生きることをもたらしてくれるということを強調しようとして、筆者は「生きること」と述べ直したのだと考えられる。	問いを正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	16

70

中学校国語科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
三	問一 2		2	
	問二 1		3	
	問三	ア 4		各 3 × 2
		イ 2		
	問四 3		3	
	問五	A おかしなことだなあ	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
		C いつもうるさく申し上げなさいるので		
	問六	姫君の祖父が、姫君を入内させようとしていること。(24字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6
問七	中将の君の、姫君に懸想している様子。(18字)	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	
問八	中将の君が、姫君の祖母を姫君と間違えて自分の邸に連れ帰ってしまったこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	
三	問一 2		2	
	問二 1		4	
	問三 3		2	
	問四 4		4	
	問五	A 周の定王は、王孫滿に楚王を労わせた	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
		B 徳の美しいときは、鼎は小さくても必ず重いものである		
問六	楚王が、周の九鼎の大きさや重さを尋ね、楚にも九鼎を造るぐらいの力があることを示し、周を威圧してきたことに対して、王孫滿は、九鼎を持てるのは徳のある君主だけであり、九鼎はまだ周にあるという天命も改まっていないとして、楚王が周王を脅かそうとすることを断念させようとしたから。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10	
四	問一 2		4	
	問二 4		4	

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
<p>五</p>	<p>このポスターは、見る人に、読書の楽しさを思い起こさせ、本を読んでもみようと思わせる作品である。</p> <p>ポスターの右上には、読書週間の文字とそれが実施された年月日が記されており、右端には、「本と旅する 本を旅する」と対句を用いたキャッチコピーが配置されている。このキャッチコピーには、本を持って旅をしよう、本の世界を旅しよう、見る人に誘い掛ける働きがある。物語を知る人が舞台となった地を訪れた時には、物語の内容と重ね合わせて、単なる観光とは異なる感動を得ることもあるだろう。また、物語を読むことで、登場人物の成長を間接的に経験し、生きるヒントを得ることもあるだろう。このキャッチコピーには、「旅」のもつ未知のものに出会う期待感や人生のイメージと重ねて、読書の楽しさを思い起こさせる働きがある。</p> <p>また、ポスターの上部には本を持った魚の群れ、中央部には翼が本になっている飛行機、その下には、渡り鳥の群れやムササビが空を飛び、それらに乗って本を読む少年少女と、眼下に広がる風景が描かれている。これらの人物は、「本と旅」をし「本を旅」をしている。この絵とキャッチコピーの組合せによって、本を読むことの楽しさを強調したいという作り手の意図が感じられる。さらに、描かれた絵に似た場面をもつ物語を想起させる。もし、このポスターを複数の人で見たならば、どの物語をモチーフにしたのかを話し合ったり、その物語の感想を交流したりすることもあるだろう。その物語を再び読みたいと思うかもしれない。読書の楽しさには、他者との交流や再読によって、新たな見方や考え方を得られることもある。この絵には、キャッチコピーには表されていない読書の楽しさを思い起こさせる働きがある。</p> <p>「読書は人生を豊かにする」と言われる。これは、読書によって得られた知識や生きるヒント、ものの見方や考え方の広がりなどの蓄積が、自分の人生をも豊かにする力があるということを表しているのだと思う。そう考えたとき、このポスターには、本とともに人生を歩んでほしいという作り手の願いも込められているのだと思う。</p> <p>このポスターは、キャッチコピーと絵との組合せによって、読書の楽しさを見る人に思い起こさせ、読書の価値について考えさせる。そして、読書週間中に本を読もうという気持ちにさせる。このポスターは、見る人にそう思わせるメッセージが込められた作品である。</p>	<p>問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。</p>	<p>50</p>